

devcontainerで安全に Claude Codeを使う

技術的な開発環境の
セキュリティ強化

naka (X: @gymnstcs, GitHub: nakamasato)

2025年7月27日

アジェンダ

1. 背景と課題
2. Devcontainerの導入方法
3. Claudeに関する設定
4. 初めて使うときに引かかるポイント
5. デモ

背景：深刻な事故事例

Cursor YOLOモードのリスク

"Cursor YOLO deleted everything in my computer!"

Reddit投稿

潜在リスク

- AIがホストファイル全体にアクセス
- 予期しない削除や変更
- 完全なデータ損失

devcontainerが必要な理由

Vibe Coding普及の課題

- `--dangerously-skip-permissions` による予期せぬセキュリティリスク
- ホスト全体への無制限アクセス
- セキュリティ vs 開発効率のジレンマ

devcontainerによる解決

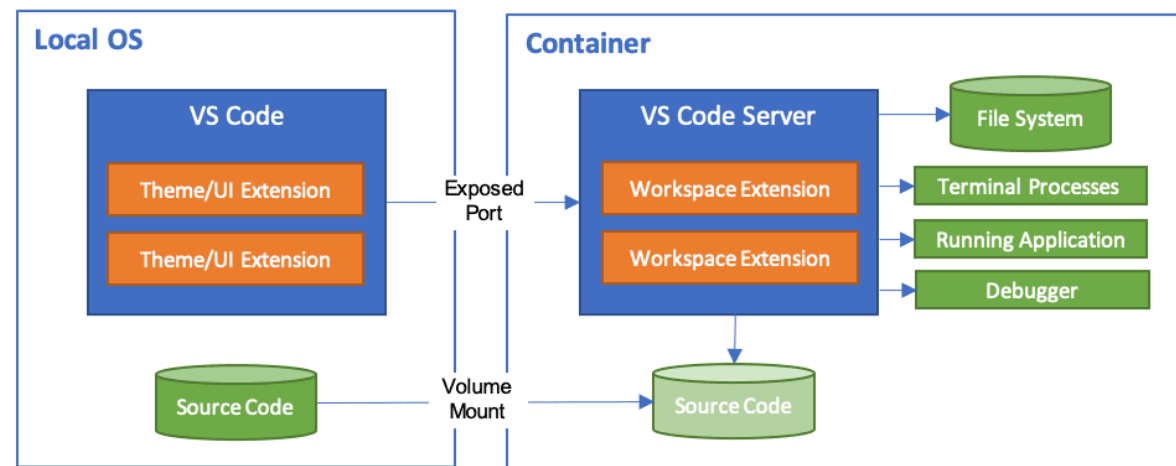
- コンテナによる隔離された開発環境
- IDEとの連携により今までと同じ開発体験を提供
- チーム開発でも使える共通の設定

devcontainerとは

VS Code開発コンテナ

- Docker上の開発環境
- プロジェクト固有の設定
- 環境の完全な再現性

参考：VS Code公式ドキュメント



導入の流れ

1. 拡張機能をインストール

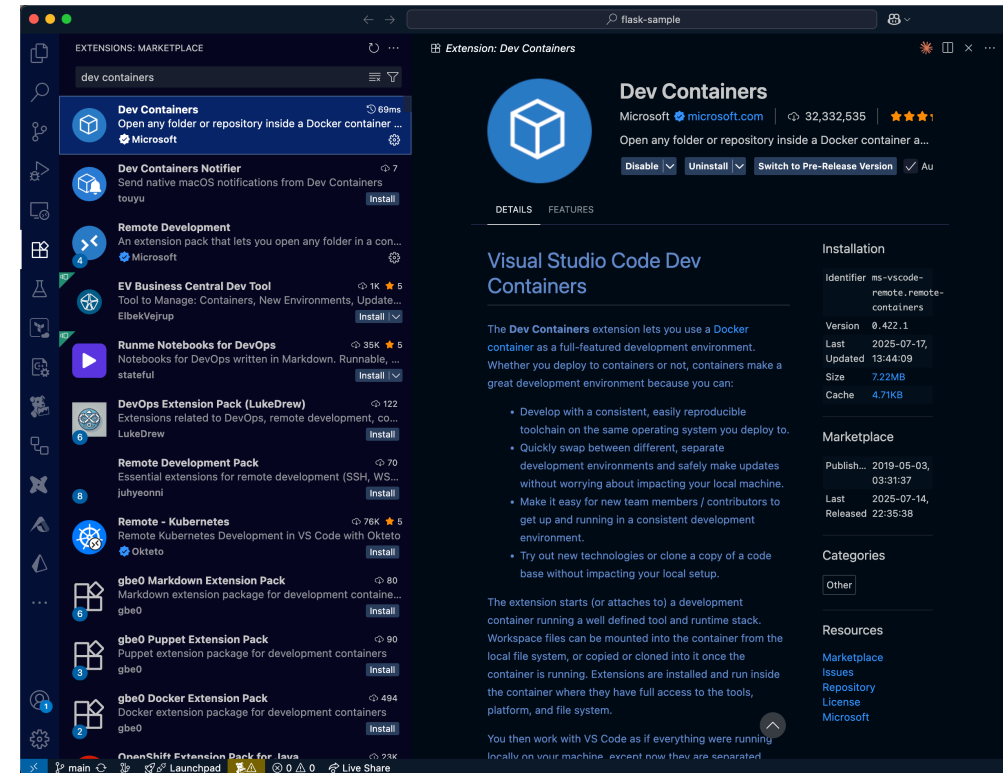
- VS Code拡張機能から「Dev Containers」を検索・追加

2. 設定ファイルを作成

- `.devcontainer/devcontainer.json` を追加

3. コンテナで開く

- コマンドパレット → `Reopen in Container`



導入方法：基本設定

`.devcontainer/devcontainer.json`

```
{
  "name": "Python Devcontainer",
  "image": "mcr.microsoft.com/devcontainers/python:3.12",
  "features": {
    "ghcr.io/devcontainers/features/github-cli:1": {},
    "ghcr.io/anthropics/devcontainer-features/claude-code:1.0": {}
  },
  "remoteUser": "vscode"
}
```

構築パターン1：既存イメージ

最も簡単な方法

```
{  
  "name": "Python Development",  
  "image": "mcr.microsoft.com/devcontainers/python:3.12"  
}
```

メリット

- 設定が簡単
- すぐに使い始められる
- Microsoft提供の安定したイメージ

構築パターン2：カスタムDockerfile

細かくカスタマイズしたい場合

```
{  
  "name": "Custom Environment",  
  "build": {  
    "dockerfile": "Dockerfile",  
    "context": "."  
  }  
}
```

```
FROM mcr.microsoft.com/devcontainers/base  
RUN apt-get update && apt-get install -y \  
    python3 nodejs npm
```

構築パターン3 : Docker Compose

複数コンテナ（DB等）が必要な場合

```
{  
  "name": "Full Stack App",  
  "dockerComposeFile": "docker-compose.yml",  
  "service": "app",  
  "workspaceFolder": "/workspace"  
}
```

用途

- データベース連携
- マイクロサービス開発

必要CLIツールの設定

基本セット

- **git**: バージョン管理
- **gh**: GitHub CLI
- **claude**: Claude Code
- **tig, jq**: 便利ツール

設定方法

- **Features**で一括指定
- **Dockerfile**でカスタム

| Featuresを使った拡張

Claudeを含む各種ツールの追加

```
{
  "features": {
    "ghcr.io/anthropics/devcontainer-features/claude-code:1.0": {},
    "ghcr.io/devcontainers/features/github-cli:1": {},
    "ghcr.io/devcontainers/features/git:1": {}
  }
}
```

その他便利なFeatures

- **pre-commit**: コード品質チェック
- **docker-in-docker**: Docker操作

| 引っかけポイント1：GitHub認証

問題

- 毎回手動ログインが面倒

解決策：環境変数設定

```
{  
  "containerEnv": {  
    "GH_TOKEN": "${localEnv:GH_TOKEN}"  
  }  
}
```

```
# ホストで設定  
export GH_TOKEN=your_token
```

| 引っかけポイント2：Claude設定消失

問題

- コンテナ再起動で `~/.claude` 以下の設定がなくなってしまう

解決策：設定マウント

```
{
  "mounts": [
    // ホストからマウント（設定をホストと共有）
    "source=${localEnv:HOME}/.config/claude,target=/home/vscode/.config/claude,type=bind",

    // Volumeマウント（コンテナ内で永続化）
    "source=claude-config,target=/home/vscode/.config/claude,type=volume"
  ]
}
```

※どちらか一方を選択して使用

| 引っかけポイント3：権限エラー

問題

- rootユーザーでの実行失敗

解決策：非rootユーザー

```
{  
  "remoteUser": "vscode",  
  "containerUser": "vscode"  
}
```

※ `--dangerously-skip-permissions` は非rootユーザーが必要

まとめ

セキュリティ向上

- ホストから完全隔離
- プロジェクト境界明確化
- YOLOモードもリスクを抑えて利用可

開発効率向上

- チーム共通環境
- 一度設定すれば使い回し可能

ベストプラクティス

段階的導入

1. 基本イメージから開始
2. 必要ツールを段階追加
3. チーム全体で設定共有

セキュリティ強化

- Claude CodeのDenyルール整備
- ネットワークの制限
- 参考：[Anthropic公式例](#)

デモ

デモ内容

- devcontainer設定作成
- VS Codeでコンテナ起動
- Claude Code安全実行
- ファイルアクセス制限確認

ご清聴ありがとうございました

Devcontainerでよりセキュアな
爆速開発環境をつくりましょう!

参考：[Qiita記事](#)